

統合開発環境 HEW を 使いこなそう

RXマイコン用のプログラムを作成するには、統合開発環境HEWを使う必要がある。ここではHEWを使いこなすためのワークスペースやプロジェクト・ファイルの設定から、コンフィグレーションやセッションについて、またマクロやバッチファイルの使い方についても解説する。(編集部)

鹿取 祐三

1. HEWの基本概念

ここではルネサス エレクトロニクス製マイコン向け統合開発環境High-performance Embedded Workshop (以下、HEW)を使用する際の基本的な概念を説明します。

● ワークスペースとプロジェクト

HEWの一番大きな管理単位はワークスペースです。システムのソフトウェア開発を行う際には、必ずワークスペースを作成しなければなりません。作成されたワークスペースのアイコンはHEWと連動しており、次回からは図1に示すワークスペースのアイコンをダブルクリックすれば自動的にHEWが起動し、目的のワークスペースが開かれます。

次に大きな管理単位はプロジェクトです。プロジェクトはロード・モジュールやライブラリ・ファイルを作成するソース・ファイルやヘッダ・ファイルの管理単位であり、ワークスペースとプロジェクトの関係は、1対1、または1対多です。ワークスペースは必ず一つ以上のプロジェクトを持たなければなりません。

HEWを起動時に「新規プロジェクトワークスペース」を選択、またはファイル・メニューの「新規ワークスペース」を実行すると図2に示すダイアログが表示され、説明した



図1 ワークスペースのアイコン

▶図2
「新規プロジェクトワークスペース」ダイアログ

ワークスペースとプロジェクトの名前を問合わせてきます。この二つは作成するシステムに合わせて、任意の名前を入力してかまいません。なお、この際に重要なことは名前ではなく、ダイアログ左側のプロジェクト・タイプです。その中でも「Application」、「Empty Application」、「Library」は頻繁に利用するプロジェクト・タイプなので、覚えておいた方がよいでしょう。

• Application

まず「Application」は、HEWのPG (Project Generator)機能を利用したスタートアップ関係のサンプル・プログラムを自動生成するためのプロジェクトです。図3に示すダイアログなどで必要なものを設定すれば、その内容に合わせてサンプル・プログラムを生成します。HEWや目的のマイコンに慣れるまではお勧めのプロジェクト・タイプです。

